目　次

■まえがき …… 1
■編集方針・凡例…… 2

序　章　総　　説…… 9

第1章　伝統文化と開国 …… 21

＊資料
1－1　玄語（三浦梅園）…… 30
1－2　古道大意・大扶桑国考——国学における新思想と限界（平田篤胤）…… 33
1－3　天柱記（開闢篇）（佐藤信淵）…… 36
1－4　植学啓原（宇田川榕庵）…… 41
1－5　聞見漫録（高野長英）…… 42
1－6　窮理通（帆足万里）…… 45
1－7　理学提要（広瀬元恭）…… 47
1－8　家兄に与ふる書・講孟余話（吉田松陰）…… 49
1－9　闢邪小言（大橋訥庵）…… 52
1－10　徳川幕府の洋学統制策 …… 58
1－11　仙台藩士大槻平次上書——若年寄遠藤但馬守へ・米国国書について …… 59
1－12　林大学頭家塾長河田八之助上書 …… 63
1－13　水戸前中納言斉昭書簡——大老老中へ・亜米利加条約の件 …… 64
1－14　佐久間象山・橋本左内・横井小楠にみる幕末の新思潮 …… 65
1－15　当今の御時勢に付心付の儀申上候覚（大島高任）…… 67
1－16　オランダ留学中の西周助蘭文書簡 …… 74
1－17　西洋事情　外篇（巻之三）（福沢諭吉）…… 76

第2章　開化・啓蒙 …… 79

＊資料
2－1　五カ条の御誓文 …… 84
2－2　褒功私説（神田孝平）…… 85
2－3　新島襄書簡 …… 87
2－4　明治政府の教学政策 …… 89
2－5　西洋医学の導入と皇漢医学 …… 90
2－6　特命全権大使米欧回覧実記（久米邦武）…… 93
2－7　擬泰西人上書（中村敬宇）…… 100
2－8　西哲叢談（瓜生政和）…… 103
2－9　保護税則ヲ設ケ工作ヲ勧奨スルノ議（若山儀一）…… 104
2－10　窮理思想…… 106
2－11　明六社制規…… 109
2－12　知説（西周）…… 110
2－13　洋学者官僚化論争——福沢諭吉：「学者の職分を論ず」とその反論…… 115
2－14　文明開化期の保守思想——島津久光の守旧論とその支持意見…… 121
2－15　新聞紙発行条目・新聞紙条例・讒謗律…… 123
2－16　洋学者の道徳論——西村茂樹の例…… 125
2－17　数学界の思想——『数理雑誌』と数理温古会の論調…… 126

第3章　欧化とその問題意識 …… 129

＊資料
3－1　士族授産ヲ請フノ議（岩倉具視）…… 138
3－2　財政救治意見書（五代友厚）…… 141
3－3　自由交易日本経済論（田口卯吉）…… 146
3－4　工業不振ノ原因ヲ論ズ（仙石亮）…… 151
3－5　民情一新・文明進歩の速力は思議すべからず（福沢諭吉）…… 153

3－6　六合雑誌発行ノ趣意…… 156
3－7　大森介墟古物編（エドワード＝モース）…… 159
3－8　モールス氏演説駁論…… 161
3－9　広告――進化主義への転向宣言（加藤弘之）…… 164
3－10　社会と一個人との関係の進化（有賀長雄）…… 165
3－11　社会に起これる人為淘汰説論争（加藤弘之・三宅雄二郎）…… 169
3－12　哲学科学ノ関係一斑（長沢市蔵）…… 172
3－13　地動説ノ証拠（菊池大麓）…… 175
3－14　理学功用弁（杉浦重剛）…… 178
3－15　我薬学の進路（長井長義）…… 179
3－16　悲憤慷慨の説（矢田部良吉）…… 180
3－17　小説総論（二葉亭四迷）…… 182

第4章　明治国家と近代化 …… 185

*資料
4－1　聖喩記（元田永孚）…… 191
4－2　教育に関する勅語…… 192
4－3　真理金針・仏教ト理学――仏教と科学（井上円了）…… 193
4－4　雑誌『日本人』の宣言…… 202
4－5　真善美日本人（三宅雄二郎）…… 202
4－6　工族諸君に告ぐ（中江兆民）…… 210
4－7　紡績業と輸入税…… 212
4－8　天地論往復集（弐編）（佐田介石）…… 217
4－9　脳髄生理精神啓微（呉秀三）…… 219
4－10　日本数学史（遠藤利貞）…… 222
4－11　刑法進化の話（穂積陳重）…… 224
4－12　『社会問題』と『近世文明』との関繋に就きて（酒井雄三郎）…… 226
4－13　宗教と科学（内村鑑三）…… 229
4－14　日本風景論（志賀重昂）…… 231
4－15　エミル・ゾラが没理想（森鴎外）…… 234
4－16　科学智識の欠乏…… 235

第5章　文化的自立の志向…… 237

*資料
5－1　美的生活を論ず（高山樗牛）…… 243
5－2　精神主義（清沢満之）…… 246
5－3　善の研究（西田幾多郎）…… 248
5－4　一年有半（中江兆民）…… 253
5－5　開国五十年史結論（大隈重信）…… 255
5－6　産業政策（加藤政之助）…… 259
5－7　社会主義運動における科学観（田添鉄二・白柳秀湖）…… 262
5－8　絶対運動論（桑木彧雄）…… 265
5－9　手品のいろいろ（中村清二）…… 270
5－10　自然の復讐（丘浅次郎）…… 272
5－11　研究的精神の欠乏（長谷川天渓）…… 275
5－12　自然主義と一般思想との関係（島村抱月）…… 277
5－13　自然主義汎論（中沢臨川）…… 278

第6章　哲学・科学・社会…… 285

*資料
6－1　物理学上認識の問題（桑木彧雄）…… 290
6－2　桑木理学士の『物理学上認識の問題』（田辺元）…… 295
6－3　個別的因果律に関して更に田辺博士の教を俟つ（左右田喜一郎）…… 298
6－4　固形の論理（丘浅次郎）…… 302
6－5　動物学者が見る人類社会の将来（石川千代松）…… 306
6－6　物理学の応用について・戦争と気象学――科学の社会的効用（寺田寅彦）… 310
6－7　経済調査会第1回総会における総理大臣訓示（大隈重信）…… 313
6－8　最近機械工業の進歩（関口八重吉）…… 316
6－9　科学の常識化（石原純）…… 319
6－10　数学教育の精神（小倉金之助）…… 322
6－11　倫理御進講草案（杉浦重剛）…… 325
6－12　世界の変革と芸術（和辻哲郎）…… 328

第7章　社会経済と科学技術 …… 331

*資料
7－1　エンゲルス：『自然弁証法』の訳者跋（加藤正）…… 339
7－2　ピアスン：『科学概論』の訳者序文

（平林初之輔）…… 342
7－3　唯物史観の批判（深井英五）…… 343
7－4　商工審議会調査要目商工省案の趣旨（四条隆英）…… 346
7－5　発明投資論（馬場粂夫）…… 349
7－6　天然資源に代るものは科学なり（太河内正敏）…… 353
7－7　国防の本義と其強化の提唱（陸軍省）…360
7－8　技術の問題（戸坂潤）…… 363
7－9　技術の規定（岡邦雄）…… 368
7－10　芸術と数学及び科学（三上義夫）…… 373
7－11　数学と民族性（小倉金之助）…… 376
7－12　科学的生命観（永井潜）…… 382
7－13　思想的危機における芸術ならびにその動向（中井正一）…… 384

第8章　戦争と科学技術 …… 391

*資料
8－1　行としての科学（橋田邦彦）…… 400
8－2　日本精神と自然科学（紀平正美）…… 406
8－3　自然科学の方法としての観察，実験等について（石原純）…… 409
8－4　最近日本の科学論（戸坂潤）…… 414
8－5　科学への考察（河合栄治郎）…… 417
8－6　科学思想に就て（田辺元）…… 420
8－7　戦争と科学者…… 424
8－8　技術論の現段階的課題（梯明秀）…… 428
8－9　現代技術論（相川春喜）…… 430
8－10　婦人の科学思想普及について（企画院科学部）…… 433
8－11　近代の超克（菊池正士・下村寅太郎）… 434
8－12　科学が文学に生きる場合（徳永直）… 442
8－13　反省…… 445
8－14　如何なる兵器を研究すべきや…… 447

第9章　敗戦・復興・科学技術 …… 451

*資料
9－1　特攻隊（鈴木大拙）…… 460
9－2　われ科学者たるを恥ず（小倉金之助）… 462
9－3　湯川理論発展の背景（坂田昌一）…… 465
9－4　数学史方法論の諸問題（近藤洋逸）…… 469
9－5　『基礎科学』創刊の辞 …… 476
9－6　理論生物学についての覚え書（石井友幸）…… 477
9－7　集団研究の10年（井尻正二）…… 479
9－8　統計学の認識と統計学史の諸問題（北川敏男）…… 480
9－9　科学としての政治学（丸山真男）…… 483
9－10　原子党宣言（渡辺慧）…… 490
9－11　暗い日の感想（朝永振一郎）…… 493
9－12　近代の倫理と原子力（久野収）…… 497
9－13　エレクトロニックスに期待する（菊池正士）…… 500

第10章　科学技術時代 …… 503

*資料
10－1　理論の党派性ということ――ルイセンコ事件をめぐる喜劇と悲劇（松田道雄）…… 513
10－2　技術者の立場から――科学技術テーゼについて…… 515
10－3　新産業革命の展望――技術革新とは何か（星野芳郎）…… 519
10－4　新資本主義の基底（中山伊知郎）…… 523
10－5　電子工業のパイオニア――ソニー株式会社社長井深大にきく（都留重人）… 527
10－6　企業への自負と懐疑（三枝守英）…… 531
10－7　科学者のタイプ（梅棹忠夫）…… 533
10－8　発明発見の代償は？（渡辺一夫）…… 537
10－9　科学と道徳（湯川秀樹）…… 541
10－10　湯川博士よかなしむなかれ（大内兵衛）…… 543
10－11　政策決定と科学者の役割（蠟山政道）… 544
10－12　行政機構近代化への考察（大来佐武郎）…… 550
10－13　周作人から核実験まで（竹内好）…… 557

■年　　表…… 561
■参考文献目録…… 585
■索　　引…… 593